

表6—住みよいところか？

<単位：%>

	とても住み よい	住みよい	まあまあ	住みにくい	とても住み にくい	わからない	合計
西区	5.5	39.7	53.4	1.4	—	—	100.0
港北区	—	41.9	48.9	6.0	0.5	2.7	100.0

ろう。このような誇りは、当然のこととしてその都市での居住歴の長さにほぼ比例して高く保持されるであろう。調査結果もそれを立証している。「市民の誇り」には「生活条件」はあまり影響しないところから、行政区別的には本来格差は出てこないものであるが、居住歴の影響は大きくうけるところから、昔からある周辺区の農村的地帯や都心区の住宅地帯に高い保持率がみられ、人口激増区や都心区の人出入の多いところでは低い保持率がみられる。西区は都心区のしかも住宅区であるところから誇りの保持率は高く、港北区は人口激増区だけに西区よりは保持率は低い。しかし、「どちらともいえない」とする率が50%を示し、西区では24.7%>ていることは、現在、保持しようとする過程にあることを示すものとして考えることができよう。

以上の点からみると、人口増加区である港北区でも約40%程度の世帯は「誇り」をもち、半数の50%がどちらともいえないが、ゆくゆくは持つであろうという過程にあるといえる。もっていないとするものが約1割しかないということは「止むなくヨコハマに東京その他から流れてきた」という流入の仕方とは考えられない。

2・「住みよい都市」に対する考え方

その都市が「住みよい」か「住みにくい」かは各世帯の主観的要因により大きく支配されるものであるが、マクロな客観的条件からすれば「生活上の諸条件」や「行政施設・文化施設などの条件」のいかんによって支配されるであろう。さらに自然的環境条件がそれに加わるであろう。したがっ

て「客観的諸条件」において先発的先進的な区の方に「住みよい」意識が高く、後発的後進的な区に低いのは当然のことといえよう。しかし、先進地区・後進地区とはいえ、いずれにしても「住みよい」客観的条件が多少なりともあればこそ「永住」をし、「来住」をしたのであろうから、それほど大きな差異は出て来ないであろうとは考えられる。調査結果は、この考えを立証してくれている。

すなわち、先発・先進の西区と後発・後進の港北区とは「住みよい」という点でも「住みにくい」という点でも、それほど大きな格差は示していない。わずかに西区の方が港北区よりも「より住みよく」そして港北区の方が西区よりも「より住みにくい」という程度の差に過ぎない。

3・市発展に対する考え

ヨコハマが将来「何を基本中心として進むべきか？」という問題は、この調査の対象となった人々がこの問題について特別に関心を持ち、常に考えているような人々ではないところから、設問としてはいささか莫とした感があるが、「ヨコハマに居住することにより得られた知恵」としての意見をのべてもらうつもりで敢えて質問を試みたわけなのである。

結果をみると「市民の対市世界観」が全市的なワイドなものでなく「居住地的世界観」に大きく支配されていることが物語られている。全市的視野においてみると「貿易中心」が第1位に推され、次いで「商業中心」、「工業中心」、「住宅中心」そして「観光中心」という順に推されている。貿

易を「広義の商業」の中に含ませれば、「将来発展のための基本たるべき中心」は「商業を中心とする第三次産業」なりとする意見は、市民の半分<51%>となる。しかし、回答の中の、「貿易中心」といっているものには「貿易業中心」の意味と「貿易港湾中心」の意味とが混在しており、むしろ新来市民の中には昔からのヨコハマに対するイメージ<ヨコハマは貿易都市だとする>に強く支配されているのが多いのではないかと思われる。ということは、「工業中心」という意見が「鶴見区において第1順位」となるほか他の9区では2位以下となっており、工業都市的イメージは著しく低下していることから知れるところである。全市的にみて工業中心は第3位で市民意見の22%にしかない。あるいはこれは近来問題視されている「公害」からの逃避、「健康的にして文化的な緑にめぐまれた快適な市民生活へのアプローチ」などに対する市民のつよい要請を示しているものとも考えられる。

とはいえ、居住地的世界観はその基本・中心を大きく性格づけている。すなわち、

- 工業中心を1位に推すのは 鶴見区
- 商業中心を1位に推すのは 中区と神奈川区
- 貿易中心を1位に推すのは 以上以外の7区

となっている。住宅・観光中心はいずれの区でも末位にある。

ところでこの問題についての西・港北両区民の意見はどうなっているかといえば下表のように余り大きな格差は出ていない。

「基本たるべき中心」の順位

西区—①貿易中心, ②商業中心, ③工業中心, ④観光中心, ⑤住宅中心

港北区—①貿易中心, ②工業中心, ③商業中心, ④住宅中心, ⑤観光中心

4・必要事業に対してどう考えているか

「明るい住みよいヨコハマ」へアプローチするの

に必要と思われる事業を17項目選び、このなかからとくに必要だと思われるものを5項目選択してもらった結果は次のようになっている。

全市の総合においては

- ① 道路整備<53.1%が選択している>
- ② 安全交通<50.9% " >
- ③ 住宅造成<42.7% " >
- ④ 公害防止<42.7% " >
- ⑤ 物価対策<37.0% " >

のベスト5が選択され、

- ⑥ 青少年教育<30.6% " >
- ⑦ 衛生保健<28.2% " >
- ⑧ 犯罪防止<27.5% " >
- ⑨ 社会福祉<25.6% " >
- ⑩ 中小企業振興<18.0% " >

までがベスト10であり、以下

- ⑪ 港湾整備<17.2% " >
- ⑫ 通勤緩和<17.1% " >
- ⑬ 文化施設充実<15.5% " >
- ⑭ 消費者保護<14.8% " >
- ⑮ 都市再開発<12.3% " >
- ⑯ 崖崩れ防止<11.7% " >

表7——市民要望の必要事業 <単位：%>

		西区	港北区
福祉 更生	衛生・保健	13.7	38.4
	医療制度充実	11.0	2.8
	社会福祉	16.4	8.9
	住宅造成	24.7	63.4②
災害 防止	公害防止	53.5②	59.0③
	犯罪防止	35.6⑤	52.9⑤
	崖崩れ防止	13.7	2.2
交通	安全交通	52.1③	59.0④
	道路整備	53.5①	68.5①
	通勤緩和	16.4	8.9
教育	青少年育	28.8	10.6
	文化施設充実	24.7	3.3
経済	物価対策	35.6④	23.9
	消費者保護	15.1	16.7
	中小企業振興	20.5	8.4
整開 備発	都市再開発	13.7	9.5
	港湾整備	20.6	17.8

○内数字はベストファイブの順位